

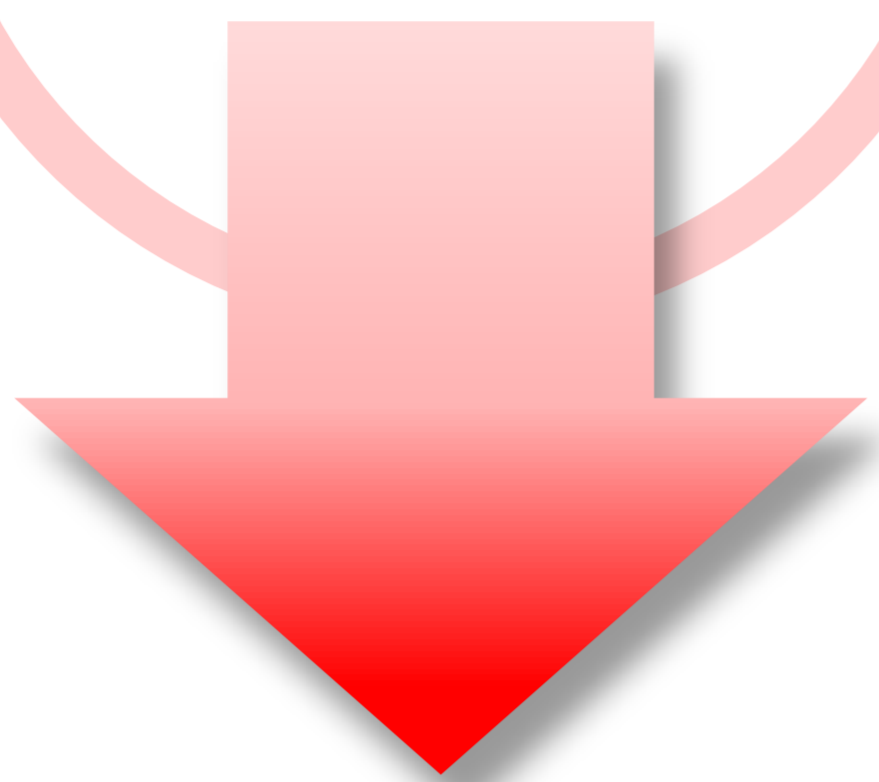
# Let's 地域おこし ゆるキャラプロデュース大作戦

FM301-2  
知名度向上いいんかい  
石垣 壮人 大澤 志  
勝田 侑里 北山 貴之  
小島 翼 清水 貴大  
担当教員: 中村 純生  
平成25年度 前学期  
プロジェクトデザインⅡ

目的: 「のっティ」及び野々市市の知名度を向上させる

## 現状の問題点

- ・ 「のっティ」のキャラクターが地味で、知名度も低い。
- ・ イベント・メディアへの露出が少ない。
- ・ グッズ販売におけるターゲット層が定かではない。



## 解決案

「のっティ」を使ったカレンダーのイラストコンテスト

“イラストを描く”  
ことで  
キャラクターに特徴  
を持たせられる。

日常的に使用する  
”カレンダー”  
を用いることで  
イベントを継続的に  
開催できる。

“コンテスト”  
という形態を取る  
事で子供から老人  
まで様々な世代を  
対象にできる。

## ゆるキャラによる経済効果の例



観光客数は6割増加(2011年/前年比)  
「くまモン」を利用した商品の売上額25.5  
億円(2011年)→293.6億円(2012年)



彦根城築城四百年祭(2007年3~11月)  
)観光客数 約240万人  
経済効果 170億円



経済効果: 約1億円  
(原価は約1万円のため、1万倍の利益)  
月に県外から60~70人ほど来客



“のっティカレンダーコンテスト”  
のポスターイメージ

## コンテスト開催までの全体的な流れ

企画

開催準備

宣伝

開催

## 解決策が地域にもたらす効果

コンテスト  
の企画実施

地域活性化  
(野々市市内)

地域おこし  
(野々市市外  
に向けて)

野々市市の  
知名度向上



“のっティカレンダー”の実物イメージ